

「日医標準レセプトソフト」

入院EFファイル

(持参薬、医療区分・ADL区分記録対応)

(平成28年度)

2016年9月26日

日本医師会 ORCA 管理機構

1. 入院EFファイルの持参薬、医療区分・ADL区分記録

平成28年10月診療分から入院EFファイルに持参薬及び、療養病棟入院基本料を算定する病棟又は病床に入院する患者については、該当する日ごとの入院基本料の区分に係る全ての疾患又は状態等並びにADL区分をEFファイルに出力することが必須となります。

入院EFファイルの持参薬記録及び、医療区分・ADL区分の記録詳細については【平成28年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料】を参照してください。

【平成28年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料】平成28年6月30日版
http://www.prrism.com/dpc/setumei_20160630.pdf

2. 日レセの対応

プログラム更新により持参薬の入力及び、入院EFファイルへの持参薬、医療区分・ADL区分記録に対応したパッチプログラムを提供します。また、持参薬入力時に必要なシステム予約コード（点数マスタ）も併せて提供します。

3. システム予約コード

システム予約コードは以下をマスタ更新により提供します。

コード	名称
099209811	持参薬 入院契機に係る・自院処方分
099209812	持参薬 入院契機に係る・他院処方分
099209821	持参薬 入院契機に係らない・自院処方分
099209822	持参薬 入院契機に係らない・他院処方分
099209711	持参薬 入院契機に係る・自院処方分・数量不明
099209712	持参薬 入院契機に係る・他院処方分・数量不明
099209721	持参薬 入院契機に係らない・自院処方分・数量不明
099209722	持参薬 入院契機に係らない・他院処方分・数量不明

※有効開始日：平成28年10月1日

※入外適用：「1 入院」

※「099209711」～「099209722」は自己注射製剤（インスリン製剤等）や点眼薬、吸入薬、軟膏等で薬の使用量把握が困難な場合に使用します。

4. 持参薬の入力等について

4-1. システム管理の事前設定

持参薬の入力を行う場合、算定入院料が包括算定の入院料となる場合、システム管理の「1014 包括診療行為設定情報」で対象入院料の包括算定方法を「2 包括算定する（エラー扱い）」以外に設定しておく必要があります。

「9. 持参薬の診療会計データについて」に説明していますが、入力された持参薬は日レセ内部では包括入力分と同様の記録を行う事で、患者の窓口請求等に影響を与えない診療データとしていることから、「2 包括算定する（エラー扱い）」の設定では入力できません。

4-2. 診療行為画面からの入力

持参薬を入力する場合は診療種別区分を入力し、システム予約コード及び持参薬を入力します。
(入力例)

診区	入力コード	名称	数量・点数		
21	.210	* 内服薬剤			
	099209811	持参薬 入院契機に係る・自院処方分			
	610461003 21	【後】アテノロール50mg錠	21	錠	12 X 1 12
21	.210	* 内服薬剤			
	099209821	持参薬 入院契機に係らない・自院処方分			
	620452801 21	【先】ムコスタ錠100mg	21	錠	31 X 1 31

【持参薬入力時のルール】

- (1). 投与した持参薬について種類別にまとめて入力する。
- (2). システム予約コードは剤内に1つ、先頭に入力する。
- (3). 保険組合せ「9999 包括分入力」での入力は不可とする。
- (4). 入力可能な診療区分は「21 内服薬剤」「22 頓服薬剤」「23 外用薬剤」「14 在宅」のみ。

※(2)(3)(4)については誤った入力の場合エラーメッセージを表示します。

claim,日レセ API から作成した中途終了(ワーク診療行為)の展開時及び、入院診療データ一括登録時も同様です。

【持参薬の使用量が把握できない時の入力】

システム予約コードに「099209711」～「099209722」を入力し、続けて持参薬を入力します。
日レセでは薬剤の数量にゼロを入力できないことから、暫定の使用量を入力しておいてください。
(入院EFファイルの「F-12 使用量」と「F-18 出来高実績点数」は「0」を記録します。)

【持参薬のまとめ入力】

【平成28年度「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料】の153頁に以下の説明がある
ことから持参薬をまとめて入力することが認められています。(上記の診療入力例もまとめて
入力を行っています)

実施年月日(E-18、EF-24)については、薬剤を使用した日が含まれる様式1対象病棟区分
の在院期間中(子様式1の期間内)であれば、薬剤を使用した日でなくてもよい。(例えば、
一般病棟グループからその他病棟グループに転棟した場合、転棟した日の前日に、当該一般
病棟グループの在院期間中に使用した持参薬をまとめて出力してもよい。)

但し、まとめて入力した場合、形式チェックソフトで該当薬剤が「[410143W 明細点数:薬剤
の上限使用料を超えています]」のエラー対象となる場合があります。

これについてはワーニング(警告)エラーであることから、そのまま提出を行われても問題は
ありません。

4-3. Claim,日レセ API

claim,日レセ API で持参薬を送信する場合も、診療行為入力同様にシステム予約コードを記録してデータを作成してください。

4-4. 帳票等の対応

(1). 指示せん、退院時処方せん等は持参薬を記載対象外とします。

(2). 各種統計帳票の記載

会計カードには持参薬入力分の記載を行います。(診区欄に目印となる◇を印字します)
その他、統計帳票(診療科別医薬品使用量統計等)は持参薬入力分の記載を行いません。

(3). 診療報酬明細書(レセプト)の記載

持参薬は提出用レセプトの記載対象外とします。

システム管理「2005 レセプト・総括印刷情報」の点検用タブ画面で「包括診療分・持参薬を記載する」※と設定されている場合、入力された持参薬を点検用レセプト摘要欄に記載します。

医保レセプト以外(労災、自賠責、公害、自費保険等)も持参薬の入力があれば点検用レセプトに記載します。

持参薬を記載する際はシステム予約コードから持参薬の区分を表示します。

21	*	【持参薬】(入院契機治療・自院処方分)		
		アテノロール50mg錠	21錠	12×1
	*	【持参薬】(入院契機治療外・自院処方分)		
		ムコスタ錠100mg	21錠	31×1

【点検用レセプトの摘要欄表示】

※持参薬の使用量が把握できない入力の場合は薬剤使用量と剤点数を“0”と表示します。

(4). レセプト電算データの記録

持参薬は提出用レセ電データには記録しません。

システム管理「2005 レセプト・総括印刷情報」の点検用タブ画面で「包括診療分・持参薬を記載する」※と設定されている場合、入力された持参薬を点検用レセ電データに記録します。

21	1	【持参薬】(入院契機治療・自院処方分)		
		1 アテノロール50mg錠	21錠	12×1
21	1	【持参薬】(入院契機治療外・自院処方分)		
		1 ムコスタ錠100mg	21錠	31×1

【点検用レセ電データの記録内容(レセ電ビューアによる表示例)】

※システム管理「2005 レセプト・総括印刷情報」点検用タブ画面の点検用レセプト記載設定コンボの選択表示内容を変更しています。

パッチ適用前:「1 包括診療分を記載する」

パッチ適用後:「1 包括診療分・持参薬を記載する」

4-5. 持参薬の診療会計データについて

システム予約コード入力により持参薬として入力が行われた診療会計データは以下の内容を記録します。

【診療会計基本テーブル (TBL_SRYACCT_MAIN)】

論理名	物理名	記録内容
自保区分	JIHOKBN	“1”を記録します
剤識別区分	TEIGENRATE	3 (持参薬) 4 (持参薬使用量不明) のいずれかを記録します (数量不明のシステム予約コード入力時が 4)

※自保区分(JIHOKBN)を“1”とすることで包括算定分と同様の扱いとなることから、患者の窓口請求等には反映しない剤となります。

4-6. 持参薬その他

- (1). (G01)月次統計画面からF4押下により遷移する(G02)月次統計データ作成画面で作成する統計データには持参薬は出力しません。

5. 医療区分・ADL区分の記録

医療区分・ADL区分については「(I47)会計照会－医療区分・ADL区分登録」画面で入力された内容を入院EFファイルに記録します。ADL点数の記録は平成28年3月28日に新設されたコメントコードに置き換えて記録を行います。

ADL合計得点の出力は任意とされていることから、これについては出力を行いません。各項目の評価点のみ記録を行います。

[ADL点数コメントコード一覧]

コード	名称
820000198	ADL a ベッド上の可動性 0点
820000199	ADL a ベッド上の可動性 1点
820000200	ADL a ベッド上の可動性 2点
820000201	ADL a ベッド上の可動性 3点
820000202	ADL a ベッド上の可動性 4点
820000203	ADL a ベッド上の可動性 5点
820000204	ADL a ベッド上の可動性 6点
820000205	ADL b 移乗 0点
820000206	ADL b 移乗 1点
820000207	ADL b 移乗 2点
820000208	ADL b 移乗 3点
820000209	ADL b 移乗 4点
820000210	ADL b 移乗 5点
820000211	ADL b 移乗 6点
820000212	ADL c 食事 0点

820000213	A D L c 食事 1点
820000214	A D L c 食事 2点
820000215	A D L c 食事 3点
820000216	A D L c 食事 4点
820000217	A D L c 食事 5点
820000218	A D L c 食事 6点
820000219	A D L d トイレの使用 0点
820000220	A D L d トイレの使用 1点
820000221	A D L d トイレの使用 2点
820000222	A D L d トイレの使用 3点
820000223	A D L d トイレの使用 4点
820000224	A D L d トイレの使用 5点
820000225	A D L d トイレの使用 6点